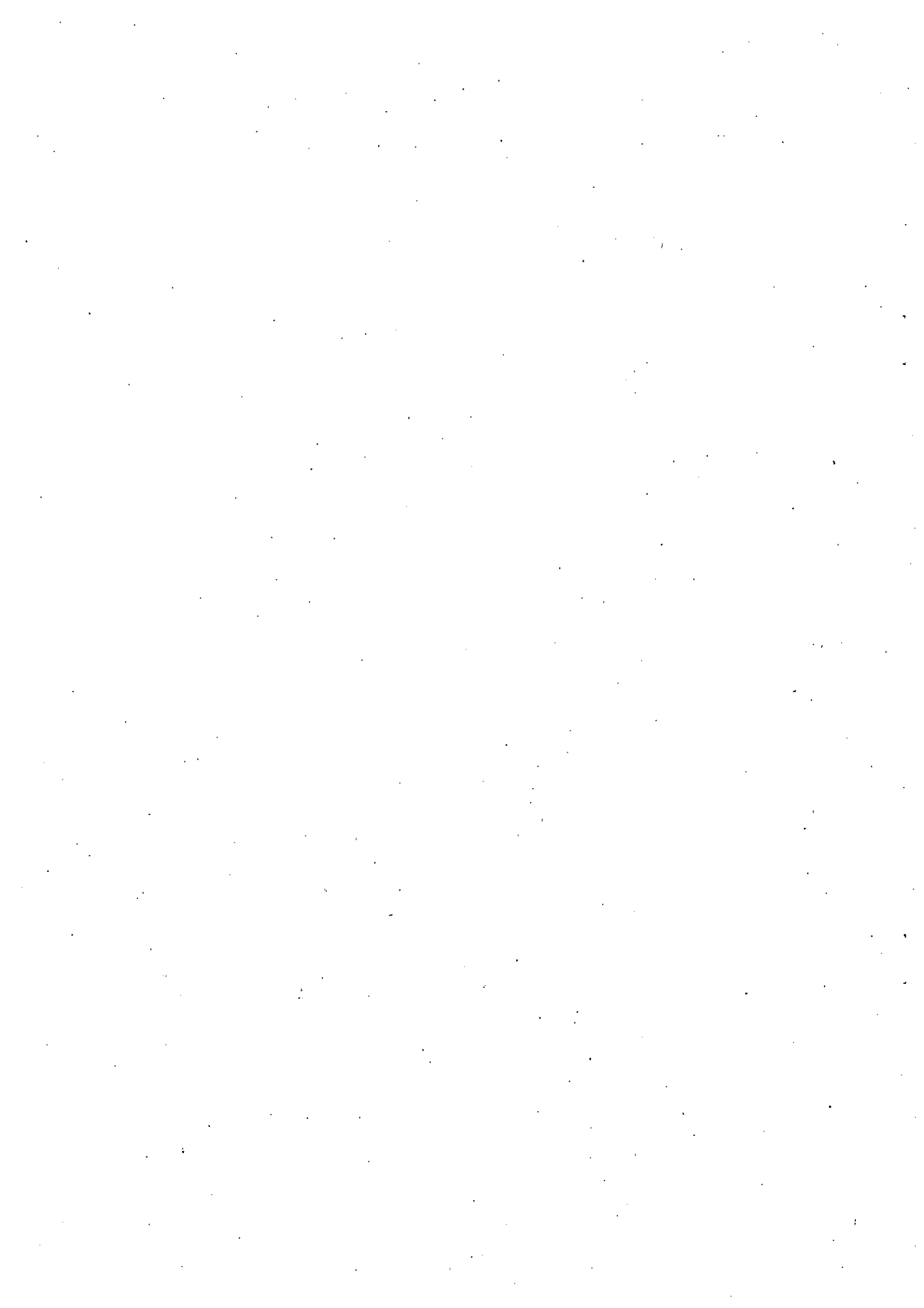


農林水産商工常任委員会提出資料

(平成30年10月11日)

項 目	ページ
1 農業大学校創立90周年記念事業について 【農業大学校】	1
2 台風24号による農林水産業被害について 【とっとり農業戦略課】	別紙
3 主要農産物の生産販売状況について 【生産振興課】	2
4 香港、台湾での県産品の販売促進について 【販路拡大・輸出促進課】	4
5 首都圏アンテナショップの運営事業者について 【販路拡大・輸出促進課】	5
6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【畜産課】	6

農 林 水 産 部



農業大学校創立90周年記念事業について

平成30年10月11日
農 業 大 学 校

- ・農業大学校は、昭和4年に全国3番目の山陰国民高等学校として当地に開校され、以来修練農場、経営伝習農場、農業経営大学校を経て現在の農業大学校が発足し、平成30年2月22日に創立90周年を迎えました。この間、学生2,178名、研修生477名が社会に旅立ち、その多くが地域農業の担い手やリーダーとして農業振興に大きく貢献されています。
 - ・平成9年から始まったモンゴル中央県と鳥取県との友好交流の一環として、平成10年からモンゴル研修生を延べ26名受入れ、野菜栽培技術や鳥取県の農業を学んでいます。帰国後は野菜栽培の振興に大きく貢献されています。
- (本年も1名の研修を予定：10月17日から2か月間)
- ・卒業生、本校学生、モンゴル研修生および関係者が一堂に介し、更なる充実した農業者研修教育施設として発展するべく相互の繋がりと県民の皆様の理解を深めるため、記念行事を開催します。

- 1 開催期日 平成30年12月1日(土) 午前9時～午後1時
- 2 開催場所 鳥取県立農業大学校(倉吉市関金町大鳥居1238)
- 3 主催 鳥取県立農業大学校修農会(同窓会)、鳥取県立農業大学校
- 4 参加予定者 300名(予定)
【来賓】県議会議員、鳥取県農協中央会、倉吉市長、農業農村担い手育成機構、県内農業高校等
【関係者】卒業生、在學生、モンゴル研修生、職員経験者および職員

5 日 程

区分	時間	内容
記念式典	9:00～9:50 10:00～11:00	①セレモニー ②卒業生・モンゴル研修生現況報告 ・卒業生による農業経営の展開(2名) ・モンゴル研修生によるモンゴルでの農業振興の展開
催事	11:00～11:30	関金小学校子供歌舞伎 (演目 里見八犬土堀村館勢揃いの場)
交歓会	11:30～13:00	①地元農産加工グループによる地域食材を使った料理提供 ②在學生による学校紹介 ③倉農太鼓(倉吉農業高校)
記念展示	—	写真展(写真で見る90年の変遷)

- 6 その他
 - ・記念誌「修農90年」の発行

主要農産物の生産販売状況について

平成30年10月11日
生産振興課

10月3日現在の主要農産物の生産販売状況について報告します。

1 水 稲

(1) 作柄概況

6月中旬が低温・寡照となり、穂数は少なかったものの、1穂当たり粒数がやや多くなり、全粒数は平年並みとなった。

出穂期前後の天候が概ね順調に推移したため、登熟は平年並みと見込まれ、9月15日現在の作況指数は99（平年並み）と見込まれている（中国四国農政局公表）。 ※登熟：粒の充実具合

（単位：kg/10a）

区 分	ふるい目 (1.70mm)	農家等が使用しているふるい目		
	予想収量	予想収量	平年収量	作況指数 (作柄)
鳥 取 県	512	501	504	99 (平年並み)
中国地区	522	512	506	101 (平年並み)
全 国	533	517	519	100 (平年並み)

※予想収量の「ふるい目 (1.70mm)」は全国一律基準であり、農家等が使用しているふるい目は地域によって異なり、1.75～1.85mm（鳥取県、中国地区は1.80mm）である。

(2) 収穫・品質検査成績の概況

ア 台風等の長雨により、収穫作業の遅れも見られたが、早生品種のコシヒカリ、ひとめぼれの収穫は8割程度終了した。中生品種のきぬむすめは、9月末から収穫が始まり、10月上・中旬が収穫最盛期の見込みである。

イ 9月30日現在の水稻うるち玄米の1等米比率（JA聞き取り）は5割程度で、同時期の29年産米と同等であるが、検査進度は全体の1割弱で、今後大きく変動する可能性がある。

2等以下の格付の主な要因としては、形質不良、整粒不足があげられる（当課調べ）。

2 梨

◇ 二十世紀梨（露地）

(1) 生育状況

7月以降の干ばつで、果実はやや小ぶりとなったが、高糖度で果皮の綺麗な梨に仕上がった。

(2) 販売状況

- ・ 8月23日から始まった二十世紀梨の販売は9月18日で概ね終了した。
- ・ 梅雨以降の少雨の影響により小玉傾向で市場販売数量は増えなかったが、入荷数量が少なく市場では終盤まで高値で取り引きされた。
- ・ 二十世紀梨の輸出は、台湾などの消費最盛期となる中秋節が9月24日（前年10月4日）と時期は良かったが、小玉が多く輸出量は132t（前年385t）と前年を大きく下回った。
- ・ 度重なる台風接近や大雨があったものの大きな被害はなかった。

区 分	数量 (t)	単価 (kg/円)	販売額 (百万円)	2L比率 (%)
H30	3,996	356	1,424	72.3
H29	4,762	333	1,585	85.2
前年対比 (%)	84	107	90	-

※JA全農とっとり取扱いまとめ

（H30の数值は、10月3日時点の市場販売分の集計）

◇ 新甘泉

(1) 生育状況

7月以降の干ばつで、果実はやや小ぶりとなったが、高糖度で果皮の綺麗な梨に仕上がった。

(2) 販売状況

- ・8月20日から販売が始まり、市場販売数量は617 t (前年比138%)であった。
- ・平均単価は前年並の463円/kgであり、本年度も安定した高値販売が続いている。
- ・台湾、香港への輸出について、本年は輸出向け果実数量の確保が難しく、25 t (前年41 t) と前年を大きく下回った。

区分	数量 (t)	単価 (kg/円)	販売額 (百万円)	2L比率 (%)
H30	617	463	285.3	77.0
H29	446	465	207.6	86.1
前年対比(%)	138	100	137	—

※JA全農とっとり取扱いまとめ

(H30の数値は、10月3日時点の市場販売分の集計)

香港、台湾での県産品の販売促進について

平成30年10月11日
販路拡大・輸出促進課

1 香港での県産品の販売促進

(1) 鳥取岡山観光物産展

香港航空が鳥取岡山両県に就航していることから、両県への誘客促進と両県産品の輸出拡大を一体的に推進するため、両県が連携し、イオン香港で観光物産展を開催した。(今年で3回目)

ア 開催概要

期間 平成30年9月3日(月)～9月9日(日) 7日間

会場 イオンスタイルコーンヒル店

- 内容
- ・両県産品の販売(鳥取県は二十世紀梨、鳥取和牛、ベニズワイガニ、日本酒、さつまいも、健康茶等)
 - ・ツアー情報や観光情報の提供
 - ・まんが王国とっとりPR(コナン、鬼太郎との記念撮影等)
 - ・ガラポン抽選会(1等は米子または岡山⇄香港便の航空券)

出展企業 14社(うち9社が渡航し、店頭で販売促進活動を実施)

イ 売れ行き状況(売上は現在集計中)

二十世紀梨、さつまいも(紅はるか)、健康茶の売れ行きが特に好調



二十世紀梨の売場の様子

(2) 鳥取和牛レストランフェア

鳥取和牛のブランド化を目的に、JA 全農とっとりが中心となり鳥取和牛を輸出し、香港のレストランで「鳥取和牛フェア」を開催した。(今年で3回目)

ア 焼肉レストラン「和牛焼肉純」(3年連続開催)

期間 平成30年9月1日(土)～9月30日(日)

店舗 コーズウェイベイ店、チムサーチョイ店(2店舗)

メニュー 特選鳥取和牛厚切サーロインと豪華焼肉御膳(2人前)
:約28,700円等

反響 [客]昨年食べにきたが、やはり鳥取和牛は美味しい。
鳥取へ観光と美味しいものを食べに行ってみたい。

[レストラン]3年連続で9月にフェアを開催し鳥取和牛の認知度が上がっており、売上も年々増加している。

イ 広東料理レストラン「西苑酒家」(今年初開催)

期間 平成30年9月1日(土)～9月30日(日)

※9月6日にメディア試食会を開催(7社参加)

店舗 コーズウェイベイ店(1店舗)

メニュー 鳥取和牛ステーキ:約5,600円、鳥取和牛ビーフン:約4,300円等

反響 [メディア]シンプルに焼いたものもいいが広東料理ともよく合って美味しかった。

[レストラン] 2卓に1卓の割合でフェアメニューの注文が入っており人気がある。



西苑酒家のフェアメニュー

2 台湾での新甘泉プロモーション

県産梨の主要輸出先である台湾において、今後輸出拡大が期待される新甘泉のメディア向け発表会を開催し、台湾での知名度アップを図るとともに、中秋節前の販売促進を図った。

(1) 日時 平成30年9月13日(木)

(2) 会場 新光三越信義新天地 A11 B2 食品売場(台北市内)

- (3) 内容
- ・来県歴のある現地タレント吳鳳(ウー・フォン)氏による鳥取トーク及び新甘泉試食
 - ・売場除幕式
 - ・JAわかとりメイツによるしゃんしゃん傘踊り披露等

(4) 結果 現地の新聞社、テレビ局、プロガー、旅行社等約30社が参集し、ウェブメディアを中心に情報配信された。



取材に応じるPR団と出演タレント

首都圏アンテナショップの運営事業者について

平成30年10月11日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」について、平成31年度以降における物販及び飲食店舗の運営事業者を選定するため、9月12日（水）に企画提案審査会（有識者6名及び両県職員2名の計8名で構成）を実施した結果については、以下のとおりとなりました。

1 公募を実施した委託業務

- (1) 業務名：鳥取県・岡山県共同アンテナショップ物販店舗運営業務
鳥取県・岡山県共同アンテナショップ飲食店舗運営業務
- (2) 委託期間：委託業務に関わる契約締結日から平成34年3月31日まで（2年間延長可能）

2 審査結果

物販店舗運営業務は、株式会社フジランドを最優秀提案者に決定した。

○選定の主な理由

- ・特産品の販売だけではなく、両県の魅力の積極的なPRに取り組む具体的な計画がある。
- ・訪日外国人旅行者の対応に効果的なモバイル決済等に対応できる。

○最優秀提案者の概要

- ・事業者名：株式会社フジランド
- ・代表者：代表取締役 岡部 洋一
- ・本社所在地：東京都千代田区平河町2丁目7番1号
- ・企業概要：フジサンゲイグループの一員として、昭和33年に設立。
資本金11億円、従業員数1,200名。
全国のサービスエリア等や美術館の物販店舗等の運営

飲食店舗運営業務は、最優秀提案者の該当者はありませんでした。

3 飲食店舗運営業務の再公募

再公募に当たっては、「鳥取・岡山両県の食材の特徴を生かしたアピール力の高いメニューと実現性の高い企画提案」がより多く提出されるように、次のとおり公募条件の見直しを行うこととします。

（公募期間：平成30年10月12日（金）から11月27日（火）まで）

○店舗業態の制限の緩和

（「ビストロカフェ」から「両県の食材の特徴を生かしたアピール力の高いメニューを提供する店舗」への見直し）

- ・初回の公募においては、お客様の認知度が上がり利用客が増加している現状を維持することを最優先し、現在より多くのメニューを揃えた「ビストロカフェ」という業態にこだわった公募条件としたため、企画提案者にとってはハードルが高いものとなっていた。

○納付率の下限を売上高の8%から5%へ低減

- ・企画提案の提出を希望する事業者の負担感を軽減することが、より多くの企画提案の提出に結びつくことから、納付率の下限を現在の売上高の8%から売上高の5%（物販店舗運営業務と同率）に設定する。

4 今後のスケジュール（予定）

平成30年	9月	建物所有者との賃貸借契約締結
	10月	飲食店舗運営事業の再公募開始 次期運営事業者（物販店舗）との委託契約締結
	11月	企画提案提出期限
	12月	審査会・飲食店舗の再公募の最優秀提案者選定 次期運営事業者（飲食店舗）との委託契約締結
平成31年	2月	2月定例会へ当初予算案を提出
	4月	改修工事を実施
	4月末	リニューアルオープン

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成30年10月11日
畜産課

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	備考
畜産課 (中部総合事務所生涯環境局)	畜産試験場和牛改良研究棟新築工事(建築)	栗伯郡琴浦町松谷	株式会社クラエー 代表取締役 西村 博文	118,994,400円 (設計額 120,204,000円) 落札率 98.99%	平成30年10月2日 ～ 平成31年3月20日	平成30年10月2日	【工事内容】 和牛改良研究棟の新築 ○構造規模:鉄骨平屋建 延床面積 485㎡、庇廊下64㎡	制限付一般競争入札 4社 平成30年9月20日 開札
畜産課 (中部総合事務所生涯環境局)	畜産試験場直接接定・待機牛舎新築工事	栗伯郡琴浦町松谷	アールホームズ株式会社 代表取締役 杉島 高美	131,544,000円 (設計額 139,212,000円) 落札率 94.49%	平成30年10月3日 ～ 平成31年3月20日	平成30年10月3日	【工事内容】 直接接定・待機牛舎の新築工事一式(電気設備工事、機械設備工事を含む) ○構造規模:鉄骨平屋建 延床面積 620.9㎡	制限付一般競争入札 4社 平成30年9月25日 開札